

第5回 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：グループホーム たてがみの郷

サービス種類：■グループホーム □小規模多機能型居宅介護

□地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

□地域密着型通所介護 □認知症対応型通所介護

日 時：令和7年1月15日（木）9：30～10：30

場 所：会議室

出席者：6人

利用者代表	0人	知見を有する者	1人
利用者家族	2人	大田市職員	1人
地域住民の代表	欠席	民生委員	欠席
駐在所巡査長	欠席		
事業所職員（職名：地域部部长 管理者、介護職員）			2人

報告事項：登録実績と利用状況（R6.12月現在）

内 訳	現在入居者数	18名	新規入居者数	11月	1名
	男 性	4名		12月	1名
	女 性	15名	退居者数	11月	0名
	計	17名		12月	1名

※最少年齢 81歳 最高年齢 100歳 平均年齢歳 91.4歳（12月）

男女比 男性 17% 女性 83%

令和6年度 グループホーム（認知症対応型共同生活介護） 利用一覧

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援2		0	0	0	0	0	0	0	0	0				
		0	0	0	0	0	0	0	0	0				
要介護1		7	8	8	8	7	7	6	7	7				
		210	247	219	248	213	182	186	205	195				
要介護2		6	5	5	5	6	7	8	7	7				
		180	155	150	155	186	199	241	210	217				
要介護3		3	3	3	3	3	3	2	2	2				
		90	93	90	93	93	68	62	60	62				
要介護4		0	0	0	0	0	0	0	0	1				
		0	0	0	0	0	0	0	0	31				
要介護5		2	2	2	2	2	2	2	2	2				
		60	62	60	62	62	60	46	60	42				

計	18	18	18	18	18	19	18	18	19				
	540/540	557/558	519/540	558/558	558/558	509/540	535/558	535/558	549/558				
入院	0	1	21	0	0	10	0	0	0				
空室	0	1	0	0	0	21	23	5	9				
入居率%	100%	100%	100%	100%	100%	96.11%	95.8%	99.0%	98.3%				
実稼働率%	100%	99.8	96.1%	100%	100%	94.3%	95.8%	99.0%	98.3%				

地域別利用状況 (令和6年12月)

波根	久手	長久	大田	川合	大屋	大森	三瓶	水上	仁万	温泉津	静間
2人	2人	1人	4人	1人	1人	1人	2人	1人	1人	1人	1人

3、活動状況報告

①運営推進会議検討項目

No.35：役割、楽しみごとの支援

- ・役割を増やす取り組み自室以外のホール清掃、金魚の餌やり
食事の準備や食器洗いなどがしやすいように作業スペースを設けた
- ・調理：月1回、おやつ作り週1回
- ・楽しみ活動：新年の飾りつけ、習字、もちつき

No.48：本人が持つ力の活用（近隣、地域との交流）

- ・朝波小児童下校時の見守り
- ・家族と協力して外出外泊の取り組み

11月：外出9件、外泊1件、12月：外出7件、外泊2件

（波根まちづくりセンター長より）

Q：地域とはどのような交流をイメージされているか教えてください？

A：グループホーム周辺の波根地域と入居者それぞれの地元とを地域と捉え、その繋がりを大切にしている。

（利用者家族より）

Q：外泊とは自宅へ帰っていることなのか、また、外出も家族と自宅へ帰る感じなのか教えてください。

A：外泊は時々旅行へ行かれる方がいるが、自宅へ帰る方が多い。

外出は職員と出かけることもあるが、報告している外出件数は家族との外出のみ。自宅へ外出される方もいるが、気軽に来所して自由に出かけていただくようにも発信しており、その結果、短時間出かけて買い物をしたり、飲食店へ行ったりされる方の方が多い。

（波根まちづくりセンター長より）

Q：調理は専門の指導者が携わっているのか？

A：調理専門の職員はおらず、利用者と職員で献立を決めて取り組んでいる。調理経験の少ない職員も関わっていて利用者の方に教えてもらう場面もある。

意見：良いことなので、ぜひ回数も増やしてほしい。

⇒食事作りやレクリエーション活動に限らず、利用者の今までの日常が、入居したら事業所の

時間割にあてはめるのではなく、自宅での生活習慣を事業所でも継続できるのを目指しており、そうなるように取り組んでいく。

意見：夜間にたてがみ私道との十字路を、一旦停止をせずに通る車を見かけた。日中は停止線で止まっているのをよく見かけるので夜間だけだと思うが、危ないと感じた。

⇒一旦停止することに決まっているが、改めて法人全体で確認したいと思う。

②外部評価関連

※№.12 職員を育てる取り組み

(外部研修)

- ・ 11/21 看取り研修 3名
- ・ 12/6 虐待防止研修 3名

(波根まちづくりセンター長より)

Q：研修を受けた方は、他の職員にどのように伝達しているのか？

A：部署会議などで復命という形で研修を行っている。上記 2 つの研修についても今月の部署会議で復命する予定にしている。

意見：大切なことだと思う。行って終わりでは意味がない。共有する事が大切だと思う。

(利用者家族より)

Q：看取り研修とあるが、看取りを行うことがあるのか？あまりグループホームで看取りのイメージがない。何件か事例があるか？

A：看取りの希望があれば対応している。人生会議を担当者会議や状態悪化時に行っている。今年度は 2 件対応をおこなった。

(波根まちづくりセンター長より)

意見：事前に参考資料をいただいていたので考える時間があって良かった。

A：地域と災害時の連携についてだが、避難訓練で地域へも呼びかけを行ったが参加はなかった。防災では、たてがみも災害時の避難場所として、食料の備蓄や宿泊機能もあるが住民には知られていないという実情があると思う。

意見：地域でも去年地区防災を立ち上げたばかりで、近くの山や農道を避難場所に設定しているが、津波発生時の垂直避難場所としてたてがみを選択肢に入れる案が出た。しかし、施設側の防犯もあると思うので、その兼ね合いや地域住民の高齢化で階段の昇り降りが厳しいという問題がある。たてがみに気軽に出入りしていいのか気兼ねがある。地域住民にむけた貼り紙でもあればよいのかもしれない。防災の観点からたてがみとの連携も考えていきたいが、役員や地域住民の高齢化により、中々話し合いが進まない状況もある。できることからやっていきたい。

4、その他 行事報告 12/23 (月) もちつき

次回開催日：令和 7 年 3 月 19 日 (水曜日) 9：30～10：30